

編集後記

『立命館平和研究』第26号には、論文3本、書評1本、「調査・研究」2本、実践報告2本の投稿を得て、厳正な査読、加筆・修正、再査読ののち、すべてを掲載した。また、立命館守山中高校の6人の先生方の共同執筆による平和教育実践報告を掲載した。

水谷論文は滋賀県内にある靖国非合祀の戦死者を慰霊する13の戦争碑を対象に、敵との戦闘死にこだわる靖国の論理と兵士個人の死を慰霊する地域の忠魂碑の論理との矛盾を描き出している。梶澤論文はBLM運動を契機とした銅像撤去の動きを紹介したうえで、戦争賛美の像ゆえ撤去すべきと言われたドイツ・ハールブルグの「兵士像」に対抗的記念碑として「嘆きの子ども像」を置いた事例をとり

あげ、記念碑教育学の理論と実践、展開の可能性について触れている。佐々木論文は小林秀雄が対米開戦直後に発表した「戦争と平和」を手がかりに小林の戦争観への再考を試みた。いずれも戦争の表象について向き合った論考である。

本号では巻頭の平和学特集から巻末まで平和創造に示唆を与える論考を掲載できた。この場を借りて、執筆者、編集委員、査読にあたった運営委員、編集担当スタッフら、すべての関係者に深甚なる感謝を献げたい。

勝村 誠 (編集委員、
立命館大学政策科学部教授、
国際平和ミュージアム副館長)

投稿へのお誘い

1. 立命館平和研究—立命館大学国際平和ミュージアム
紀要一では、以下にあげるような、広義の平和に関する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。

- ・平和に関する学術研究
- ・平和に関する教育実践報告
- ・博物館活動
- ・博学連携

2. 種類と分量

掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編集委員会で決定、または承認されたものとします。フォーマットは40字×30行とします。

- | | |
|--------|-----------------|
| ①論文 | 12,000字～20,000字 |
| ②資料紹介 | 4,000字～20,000字 |
| ③研究ノート | 4,000字～16,000字 |
| ④書評 | 4,000字～8,000字 |
| ⑤調査・研究 | 4,000字～20,000字 |
| ⑥実践報告 | 4,000字～20,000字 |
| ⑦研究展望 | 4,000字～12,000字 |

応募原稿は、上記のいずれかに該当するものとします。他の出版物に掲載または採録されたものは採用しません。二重投稿は禁止します。

※上記文字数には、本文、注、スペース、写真、図表等を含みます。

※分量を超えた原稿は審査対象外として査読を経ずに返却することがあります。

3. 言語

原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。英文の原稿については、事前に編集委員会にご相談ください。

4. スケジュール

7月第1土曜日…執筆者登録(エントリー)締切り
以下の情報を郵送・ファックス・Eメールのいずれかでお送りください。

- ①氏名、②所属、③連絡先、④原稿の種類・分量、
⑤題名、⑥日本語要旨(200字程度)

↓

9月末日…原稿締切り

※受取方法：ハードコピーは郵送。封筒に朱書きで「立命館平和研究原稿在中」と明記する。

※提出物：完成原稿と日本語要旨(200字程度)と英語タイトルと英語要旨(250語程度)をハードコピーとデータ(USBかメール添付)両方で提出。

↓

3月上旬…刊行(予定)

5. 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、一部書き直し、返却(掲載不可)などの結果を原稿締切り後3ヵ月以内に投稿者に連絡します。

6. 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。

7. 備考

原稿料はお出ししません。

掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷り30部を呈呈します。

8. 原稿提出先・お問合せ先

立命館大学国際平和ミュージアム

立命館平和研究編集委員会

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL.: 075-465-8151 FAX.: 075-465-7899

Email: peaceins@st.ritsumei.ac.jp

立命館平和研究

—立命館大学国際平和ミュージアム紀要—

第26号

発行日	2025年3月26日
編集・発行	立命館大学国際平和ミュージアム 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 電話 075-465-8151 FAX 075-465-7899
印刷	(株)NPCコーポレーション

©立命館大学国際平和ミュージアム